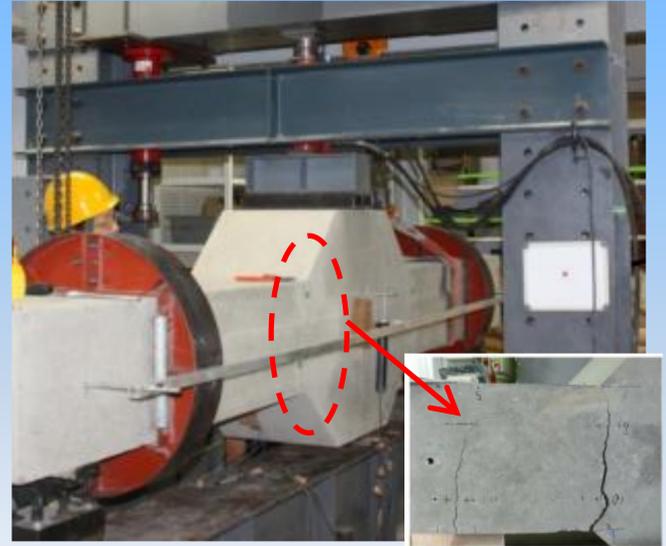




中部電力

鉄筋コンクリート構造物の耐久性評価技術

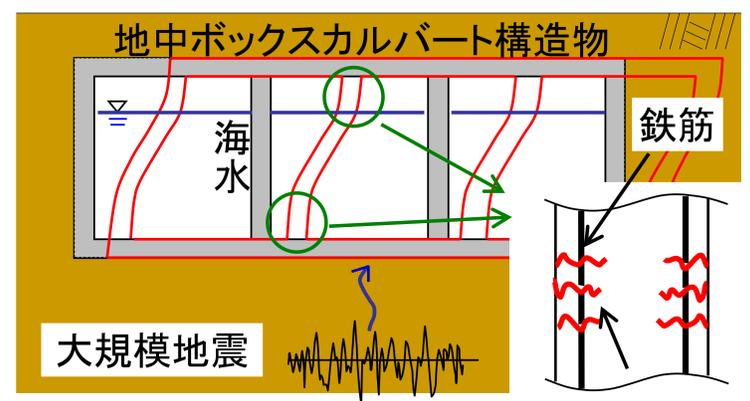
# 取放水路ひび割れ部での鉄筋腐食進行性評価



大型供試体を用いた载荷試験状況

背景・目的

- 大規模地震発生時に、取放水路に用いられている地中ボックスカルバート構造物にひび割れが発生する可能性がある。ひび割れの補修は速やかに行うのが望ましいが、電力供給力確保の観点から補修が先送りされるケースが想定される。一方、ひび割れ部では鉄筋腐食の進行が早く、構造物としての性能が早期に低下することが懸念される。そこで、ひび割れの程度と腐食進行性との関係を明らかにしました。

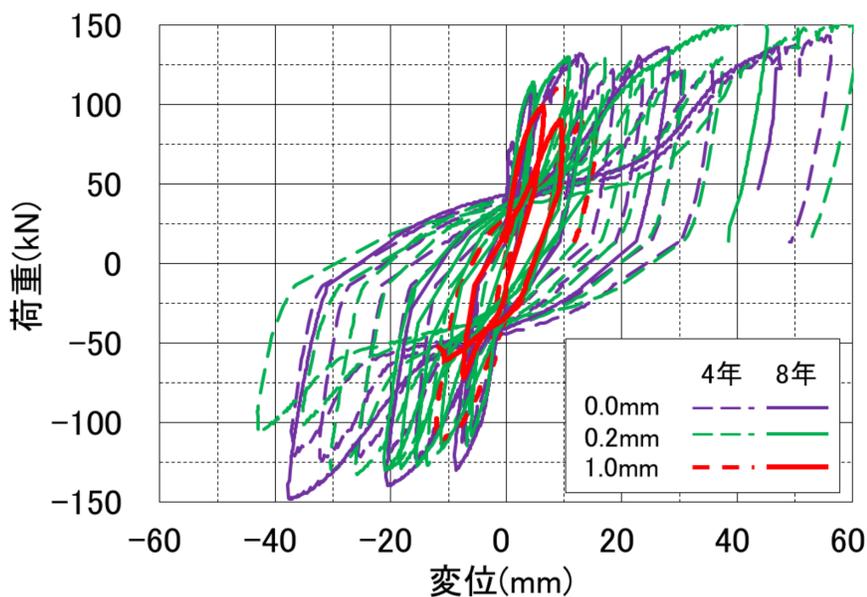


ひび割れ

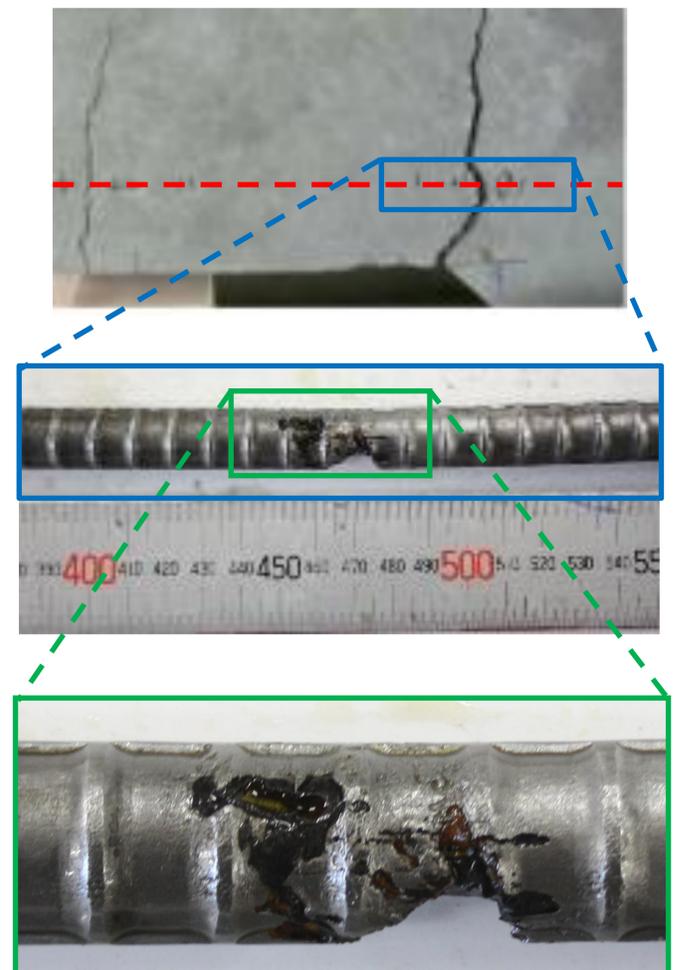
大規模地震時のひび割れ発生イメージ

特長

- 8年間に亘る長期暴露試験を実施
- 実寸相当の大型供試体を使用
- 腐食が進行した構造物の耐荷特性を把握



構造物の耐荷特性



鉄筋腐食による断面欠損状況

研究者のひとこと

大型の供試体を用いて、8年間という長期に亘る暴露試験を実施することにより、鉄筋の腐食進行に関する知見を得ることができました。今後も、大規模地震という万一の事態に備えた検討に取り組んでいきます。